

第3・4学年 学級活動(2) 指導案

2019年6月 5日(水) 第6校時
土佐清水市立 幡陽小学校
児童数 3年生 6名 4年生 3名
場所 3・4年生 教室
指導者 岡田 水砂

1. 題材 「津波から身を守るために」

学級活動(2) ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」

2. 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに遠足や授業中に地震・津波を想定した避難訓練を通して安全に避難することを学習している。4年生は総合的な学習の時間や社会科の学習の中で校区を探検し、地域には避難場所や避難誘導の看板などがあることも発見し、調べて分かったことを地域安全マップにまとめる学習をしてきた。

また「東日本大震災を忘れない」のDVDを視聴して大地震の恐ろしさを知り、学習したことを基に防災標語や防災ポスターの作成にも取り組み、防災に対する意識を高めてきた。児童の防災への関心は、高まってきていると思われる。

第1回防災アンケート(5月)の結果では、「あなたの家は、地震に備えて準備をしていますか。」の質問で「している(4)・していない(3)・わからない(2)」と言う結果となっている。そして「あなたは、南海トラフ地震について、もっと学習したいと思いますか。」の質問には、全員が「思う」と答えている。

「防災について学習したいことや知りたいこと」では、「津波のことを知りたい・津波がなぜ起こるのかを知りたい。」との記述が多く見られた。

全体的に地震からの危機回避の意識は高まってきているようだが自宅で地震への備えをするという関心意欲態度、なぜ地震の後に津波が発生するのかについての知識理解が十分でないことが見えてきた。

(2) 題材設定の理由

本校は市街地郊外の高台にあり、避難場所に指定されている。しかし児童の過半数は津波浸水地域に自宅があり、今後30年以内に70から80%の確率で起こるとされる南海トラフ地震の予測によると、甚大な被害が予測されている。

最大クラスの地震発生の場合校区では震度6強から7で30cmの津波到達までの時間は約10分、津波高は約15mと想定されている。

今年度、中学年の重点目標として「災害について基本的な理解ができ、災害を防ぐための工夫について考えることが出来るようになる。」・「災害により引き起こされる危険について関心を持ち、自ら危険を回避する方法を考えられるようになる。」・「災害時に、家族や友達・周囲の人々と協力して危険を回避できるようになる。」ことをあげている。

これまでに授業中と休み時間に、教室以外の場所での避難訓練を実施してきた。

今回は南海トラフ地震に備え、どのような時でも自らの命を守ることができるよう本題材を設定した。

本時の学習ではこれまでに作成してきた「地域安全マップ」づくりや、地震や津波に関する基礎知識を基に、地震が発生した後の津波が起こる仕組みについて学習し、津波から自分の生命を守り、津波から逃れるためにどのような対処をすれば良いのかを考えさせたい。

またいざという時に適切に身を守ることができるようにすることや、素早く安全な場所に避難する方法や手段や場所を考えさせ地域に発信し、災害時には自分や身の回りの人の生命を第一に行動することができる態度を育てていきたい。

3. 学級活動(2)「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」の評価規準(第3学年及び第4学年)

観 点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評 価 規 準	自己の生活上の問題に 関心を持ち、意欲的に日常 の生活や学習に取り組も うとしている。	学級生活を楽しむために、日常の 生活や学習の課題について話し合い、自 分に合ったより良い解決方法などについ て考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しむこと の大切さ、そのための基本的 な生活や学習の仕方などにつ いて理解している。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・アンケートに回 答する。	・「どのように津波が起こるのか、 起こった時には自分の身を守る 行動ができるか?」と投げかけ、 問題意識を持たせておく。	【関心・意欲・態度】 ・津波の特徴や仕組みを理解し、津波が起こった 時にどのように行動しどこへ避難するかにつ いて問題意識を持つ。(発表・反応)

5. 本時のねらい

*津波の仕組みや津波の特徴を理解し、津波から命を守る方法を考えることができる。

6. 本時の学習

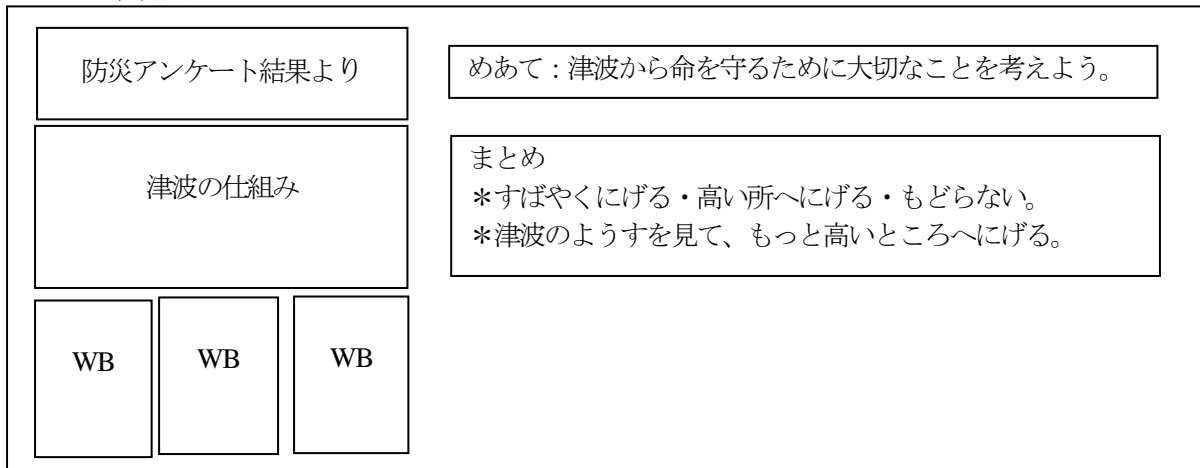
	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
導 入 (5)	1. アンケートの結果を伝える。	○アンケートの結果を伝 え、課題意識を持たせる。	
展 開 (30)	2. 津波が起こる仕組みを学び、津波が 来そうな時どのように身を守るか学習 する。 津波から命を守るために大切なことは何か考えよう。 ・海底で地震が起きると、津波が発生す る。 ・津波のスピードはとても速く、力も強 い。 3. 津波から命を守るためにについて大切 なことについてまとめる。 ○【津波から身を守ろう】を視聴し、津 波から命を守るために大切なことを考 える。 ○グループごとに発表し、津波への対処 法が理解できているか確認する。 4. 津波から命を守る知識について確認 する。 ・素早く逃げる・高い所へ逃げる・戻らない。 ・避難した後は状況を見て、更に高いところへ逃げ続ける。	○【津波の仕組み】を視聴 し、津波について知る。 ・ワークシートに記入する。 (一人学び) ・グループで話し合い、WB にまとめる。(とも学び)	○津波の特徴を理解し、学 んだことを理解している。 【知識・理解】 (ワークシート)

終末 (10)	<p>5. 日頃から津波に備え、地震が起きたら適切に行動する方法を確認する。</p> <p>6. 学んだことを家族や他の人に伝えるにはどうすれば良いか自己目標を考え、発表用紙に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きたら津波からにげるために、どこに逃げるかを決めておく。 	<p>○実際に津波が来たと想定し、家族で避難場所を決めておくように伝える。</p> <p>○発表用紙を配布して、記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ発表する。 	<p>○津波の特徴を知り、津波からの身の守り方を伝える方法を考えることができる。</p> <p>【思考・判断・実践】 (発表用紙)</p>
------------	---	--	--

7. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が立てた自己目標を実践し、振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で立てた身を守る方法についての自己目標が実践できたか振り返る場を設定し、評価する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己目標の内容を進んで実践している。(ワークシート・発言)

8. 板書計画



*移動黒板に、児童の自己目標を掲示する。

9. 準備物 : DVD・ワークシート・自己目標用紙

ワークシート②「 ^{つなみ}津波を知ろう / 津波から命を守ろう 」

年 名前

【1】津波から身を守るにはどうしたらよいですか？

- () 津波をかくにんするために、海に見に行く。
- () なるべく高いところのにげる。

【2】じしんおきて津波が来るまで、どれくらい時間がかかりますか・

- () 5分くらい。
- () 30分くらい。
- () 1時間くらい。
- () 決まっていない。

【3】ひなん場所についた後、しばらくどうしたらよいですか。

- () 津波が本当に来たのか見に行く。
- () 津波けいほうが、かいじょされるまでもどらない。

【4】友だちとあそびに来ている時に大きなじしんがおこり、津波けいほうが出されました。友だちは「津波をちよくせつ見てみたい。きっとそれほど大きくないし、ぼくたちは足がはやいからにげ切ることができるよ。」と、言いました。あなたはどうしますか。

- () 津波を見てからにげる。
- () 見に行かず、すぐにげる。

【5】津波から命を守るために、大切なことだと思ふこととそのわけを書きましょう。
